

# どねみふあ荘



## クリスマスプレゼント

漫画・東園子



子育てを応援する松井先生によるコラム連載中!

学研キッズネット for Parents ～くやまない、悩まない、自分を責めない～「子育てがラクになるアドラー流子育て」。保護者の間でも人気上昇中です!  
<https://kids.gakken.co.jp/parents/category/learning/?series=adler>

「まだ無理だ」と思ってもやらせてみる。失敗しても「今度はうまくいくはず」と声をかけることが大切なのだ。

(アルフレッド・アドラー「人生に革命が起きる100の言葉」ダイヤモンド出版 小倉広著より)

何年か前に、こんなテレビコマーシャルがありました。「僕がやる、僕がやる!」と言って、料理を手伝おうとする小さな男の子。背が届かないので、自分で椅子を持ってきて、なんでもやろうとします。でも、やること全てが危なっかしくて、パパもママもハラハラドキドキ。子どもは、そんな心配をよそにとても楽しそう。そして両親も、それを咎めることなく、温かく見守っていて、その様子がとても微笑ましいんです。最後には「お手伝いありがとう!」とママの一言。このように、おとなからすれば、一見失敗と見えるようなことも、子どもにとっては好奇心だったりしますね。

ところで、私は、命の危険がない限り、子どもたちには(例えばこのCMのように)多くのことを経験してほしいと考えます。指導者や保護者が先回りして、失敗をさせないようにするのは、子どもの成長にとって、決して好ましいものではないと思うのです。

例えば、私の教室では、普段のレッスンで「好きな曲や弾いてみたい曲はある?」と生徒さんに聞くことがあります。そんな時、生徒さんはみんな、目を輝かせて弾いてみたい曲を教えてくださいませんか。やはり「憧れのが弾けたら嬉しい!」と誰もが思っています。

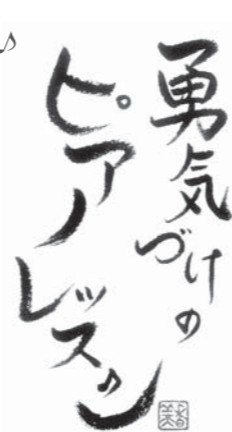
もちろん、その曲の難易度が高過ぎる場合は、時期を考える必要があります。でも、私はできる限り本人の希望に寄り添い、「少し難しそう」と思っても、時期を見計らい、取り組んでもらっています。本人がやる気になった時がチャンス。タイミングをいち早くキャッチし、失敗を恐れずにチャレンジさせてみることを心がけているのです。

「子どもが失敗を恐れるのは、叱られたり責められたりするから。」ということも言われます。失敗は決して怖くない。私たちおとなが失敗を恐れず、咎めず、受け入れる。そして、次に成功するためには、何をすれば良いかを共に考え行動する。長期的な目線で捉え「何度でもやり直せる」ことを伝えていけば、生徒(子ども)は自分の力で、どんどん伸びていきます。

松井美香 まつい・みか

「勇気づけの音楽家」東京音楽大学ピアノ専攻卒業。学研『愛のピアノレッスン』にて手記を執筆。  
 <HP>松井美香ピアノ教室 <http://matsuimika-piano.net>  
 <ブログ>ピアノの先生のためのモチベーションアップ術 <http://ameblo.jp/makeachangewithlove>  
 \*無料メルマガ好評配信中(ご登録はブログにてお知らせしています)  
 <座談会特設ページ><http://www.gakken.jp/ongaku/smile>

## 第33回



今月号で「発掘! オリジナル攻略法」が最終回です。ピアノ名曲をレパートリーに加えながら、効率的に演奏力をアップする方法...ということで「新選ピアノ名曲 120 初級」(小社刊)のユニークな活用法をご提案させていただきました。過去の連載を見逃した! という方は「学研 おんがく.net」でバックナンバーをぜひご覧ください。(の)

2016年11月25日



クリスマスにまつわる音楽があちらこちらで聴こえる季節になってきましたね。今年のクリスマス特集では、クリスマスに縁がある素敵なピアノ曲をご紹介します。

リストは、12曲からなるピアノ曲集《クリスマス・ツリー》も作曲しています!

今回ご紹介した曲は、ナクソス・ミュージック・ライブラリーで配信されています。ぜひ聴いてみてくださいね!(の)  
 ■ナクソス・ミュージック・ライブラリー (NML) <http://ml.naxos.jp/>

### その1 《四季》より 12月〈クリスマス〉 チャイコフスキー作曲

“クリスマス”そして“クラシック”といえば、ロシアの作曲家チャイコフスキーのバレエ音楽《くるみ割り人形》を思い浮かべる方が多いかと思います。実はチャイコフスキー、“クリスマス”というタイトルのピアノ曲を残しているのです。ロシアの季節や人々の様子などを、各月ごとに描写した12のピアノ作品集《四季》。〈クリスマス〉は、この中の12月にあたります。クリスマスの日の夜に、ある家庭の娘たちが踊るワルツの様子が描かれている、とも言われているようです。チャイコフスキーお得意の優雅で、心が躍るようなワルツです。

### その2 〈アヴェ・マリア〉 シューベルト作曲/リスト編曲

クリスマスの時期になると、必ずといっていいほど耳にする〈アヴェ・マリア〉。J.S.バッハやグノーをはじめ、多くの作曲家が〈アヴェ・マリア〉というタイトルの曲を書いています。ドイツの作曲家シューベルトも、歌曲〈アヴェ・マリア〉を作曲していることは、みなさんご存知ですよね。シューベルトを尊敬し愛してやまない、ハンガリーの作曲家リストが、ピアノ独奏に編曲をしています。原曲にはないパッセージが追加され、さらにリストお得意の超絶技巧も用いられているため、難易度は高いのですが、心があたたまると美しい音楽になっています。

### その3 《5つの小品》より 第5曲〈樅の木〉 シベリウス作曲

クリスマスの陽気な雰囲気とは異なりますが、この曲もおすすめ。クリスマスツリーによく使用されるモミの木がタイトルになった曲があります。フィンランドの作曲家シベリウスが書いた、樹木の名前がつけられた《5つの小品》(通称「樹木の組曲」とも呼ばれます)の中の第5曲〈樅の木〉です。シベリウスのピアノ曲の中では、もっともよく演奏され、アンコールピースとしても人気のある作品の一つです。北欧の長く厳しい冬の間、孤高に佇むモミの木の様子が描かれているように感じられます。

## 田丸先生が楽譜へこめる想い episode 06

もうじき冬本番ですが、夏の暑さと田丸先生の熱意がこもった『予習と復習のためのおうちでもできる!』おんがくドリルとおんがくワークブック、第3巻はご覧いただけましたでしょうか? 今回の表紙テーマは「汽車」。鉄道がお好きな田丸先生は、男の子が汽笛を鳴らす“ひも”を引いているのをちゃんとお気づきになりました。さすが! ドリルとワークブック、どちらの表紙のことか...は、ぜひお手にとってご確認いただければ嬉しいです。(か)

## 編集部の一問一答!

学研・音楽事業チームのスタッフに音楽の好きなところ、自分だけのこだわりなどを聞いてみよう! というコーナーです。

今月の回答者: (ち)

- Q: 本番前日にやることは?
- A: 楽譜を見ながら音源を聴きこむ!!
- Q: 緊張したらどうやって解消する?
- A: 演奏を楽しむことを考える
- Q: 本番当日に気をつけることは?
- A: 演奏に集中する為に忘れ物をしない

新刊情報  
 書籍 まずはこれだけ! まねるだけボイストレーニング DVDつき  
 著&指導: 上野実咲・上野由紀 (上野ヴォーカルアカデミー)

簡単に取り組めて即効性のあるボイストレーニング本。

DVDを見ながら真似をするだけでどんどん歌が

うまくなる&声が良くなる!

わりばしやペットボトルなど身の周りにある道具を使って、

のど、舌、お腹などを効率よく鍛え、声量と表現力を

らくらくアップさせよう。

講師はメディアでも話題の上野ヴォーカルアカデミーのお二人!

■A5判/96頁/DVD付き/本体価格1,700円(税別)

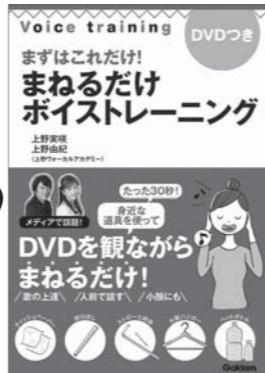
DVDつき

身近な道具を使って

トレーニングは21種類!

たった30秒!

まねるだけ!



## Gakken

株式会社学研プラス 音楽・キャラクター事業室  
 〒141-8415 東京都品川区西五反田2-11-8 TEL: 03-6431-1220  
 学研 おんがく.net <http://www.gakken.jp/ongaku/>  
 電子書籍ストア 学研BookBeyond <http://bookbeyond.jp/>  
 twitter @gakken\_music Facebook gakken.music

# PICK UP! あかね先生のセミナー

おかげさまで、2009年からはじめたセミナーは、今年の4月で通算200回を達成しました。北は北海道から南は鹿児島まで、たくさんの受講者の方にあかね先生を知っていただくことのできた1年だったのではないのでしょうか。まだあかね先生にお会いしたことのない方、すでにあかね先生の教材を使っておられる方…さまざまな方がいらっしゃると思いますが、来年もセミナーを続けてまいりますので、さらに多くの方にあかね先生が出会うきっかけとなれば良いと思います。あかね先生の魅力をお伝えできるよう、このコーナーも引き続き頑張っております♪

## 丸子あかね先生のセミナー

- ・楽しくおぼえる「おんぶ」と「けんばん」のレッスン
- ・子どもが飽きない「リズム」のレッスン
  - ①導入編 ②発展編
- ・「譜読み」の基本を身につけるレッスン
- ・ピアノ・テクニックのレッスン法
  - ①導入編 ②発展編

4つのセミナーテーマのうち、1番人気は『子どもが飽きない「リズム」のレッスン』。皆で拍子うちやリズムうちをしながら、リズムを身体に染み込ませていく、楽しいセミナーです。実際に生徒さんにレッスンをするように進めてくださるので、幼い生徒さんへの声かけなど、大変参考になるというご感想をいただきます。

ちなみに、担当(ゆ)のイチオシは、『「譜読み」の基本を身につけるレッスン』!このテーマでは、あかね先生が導入期の柱としている「おんぶ」「けんばん」「リズム」の要素を融合させ、その先の「譜読み」にどうつなげていくのかを、実演で学ぶことができます。このテーマの嬉しいところは、あかね先生の導入期メソッド全体を俯瞰したお話しが聞けること!「譜読み」に至るまでの、3つの要素に関する説明や、教材の使い方などを知ることができる、とてもおトクなセミナーです。さらに、先生と『ちいさなおんがくかい』の連弾ができるチャンスも!お近くの会場で開催されるようでしたら、ぜひ足をお運びくださいませ。

**\*今月のセミナースケジュール\***  
 12/13(火):[福島県/福島] ホテル辰巳屋 8F 瑠璃の間  
 『「リズム」を確実に身につけるためのレッスン』  
 <リズム・セミナー/発展編>



## セリアの会 チャリティーコンサート 2016 「びよちゃんとひまわり」の朗読レポート

10月22日、東京ヤマハエレクトーンシティ渋谷において、東日本大震災支援のチャリティーコンサートが開かれました。津波で被災した宮城県の子供たちの鈴木信子園長先生が、命がテーマの絵本『びよちゃんとひまわり』(いりやまさとし作絵・学研刊)をスクリーンの絵に合わせて朗読、その朗読にエレクトーンでセリア・ダンケルマンさんが即興で効果音やBGMをつけるというコラボレーションによる臨場感あふれる読み聞かせに、会場は感動に包まれました。音楽の力で子どもたちの心のケアにあたるセリアさんの活動も紹介され、音楽&絵本の持つ癒しの力が、復興に向けてのパワーをくれるのだと知り、更なる感動を生んだイベントでした。



▼鈴木先生(右端)の朗読にあわせて、即興でメロディーを奏でるエレクトーン演奏家のセリア・ダンケルマンさん(左端)と打楽器奏者のアファ・レア・ダンケルマンさん(中央)

「びよちゃん」はレッスンノートやシールでもおなじみ!



びよちゃんとひまわり さく・え いりやまさとし ■227×200cm(変形) / 32頁 / 4C / 本体価格:950円(税別)

▲セリアさんのエレクトーン演奏と十絃箏、インドネシアの踊りや演奏など、バラエティ豊かな演目でした。宮城から来た出演者による歌や尺八の演奏もありました。

## 2016楽器フェアに行ってきました!

去る11月4日から3日間、日本最大の楽器総合イベント「楽器フェア」が東京ビッグサイトで開催されました。国内外100以上の一流ブランドの楽器や新製品の展示、ほかにも様々なライブやワークショップなどが行われる本イベントは、2年ぶりの開催となり大賑わいでした。来場された皆様は、楽器や音楽の魅力を存分に楽しめたことと思います。ちなみに、私(の)が一番感激したものは、「TOMITA Memorial Museum」での富田勲さんのアナログシンセサイザーの展示。大ファンの私は感無量でした…!(の)

2016楽器フェア公式サイト <http://musicfair.jp/2016/>  
 ★フォトレポートがUPされています!

**新刊情報** 予習と復習のためのおうちでもできる! 編: 田丸 信明

**楽譜** おんがくドリル③ / おんがくワークブック③

---

**田丸信明先生の待望のシリーズ第3巻が登場!**  
 ドリルもワークブックも全問の解答とシールつき

**ドリルのポイント**  
 ♪基礎知識をしっかりと学びたい時に。  
 ♪反復練習もあります!  
 ♪説明が充実しています。

**ワークブックのポイント**  
 ♪問題をたくさん解きたい時に。  
 ♪充実の問題数。  
 ♪クイズ感覚で楽しい!

---

**既刊も好評発売中!**

■各: 菊倍判 / 64頁 / 本体価格 900円 (税別)

## 発掘! オリジナル攻略法

最終回  
 ~3度の重音を弾きこなすには~

〈人形の夢と目覚め〉エステン作曲  
 『新選ピアノ名曲120 初級(P.4)』収録

### 各部分のイメージをふくらませよう (様式)

6曲からなる《子どもの情景 Op.202》の第4曲。19世紀中頃にたくさん作られた性格的小品のひとつで、発表会の定番曲です。エステンはドイツのピアニスト兼作曲家。ピアノ教師として有名ですね。〈アルプスの鐘〉〈アルプスの夕映え〉などの小品でもよく知られているように、サロン演奏用の性格的小品をたくさん作曲しました。曲は4つの部分に分かれ、①人形の子守歌、②人形の夢、③人形の目覚め、④人形の踊りと表記されています。部分ごとに拍子も曲想も変化します。女の子が人形に子守歌をうたっているうちに、いつのまにか自分が寝てしまい、人形の夢をみる……これは解釈のひとつですが、このように場面を想定したあと、さらに各部分のイメージを具体的にふくらませて表現に生かしてみましよう。

最終回はT.エステン(1813-1870)作曲の〈人形の夢と目覚め〉です。基本的なテクニックが絶妙に組み合わせられて、各部分の性格が明確になっているだけでなく、ストーリー性も豊かな曲です。ハ長調で比較的譜読みはしやすいはずですから、スラー、スタッカートなど音符以外の記号をよく読み込んで、表現力を磨いてください。

1. タイトル、速度標語、作曲家、形式から曲の様式を把握する。
2. 音型やリズム、和音から理論的に表現を考える。
3. ほしい音を出すための指や手首、腕の使い方を決めて、練習の指針にする。それでは、攻略法にしたがって順にみていきましょう。

### 拍子と伴奏型に注意しよう (理論)

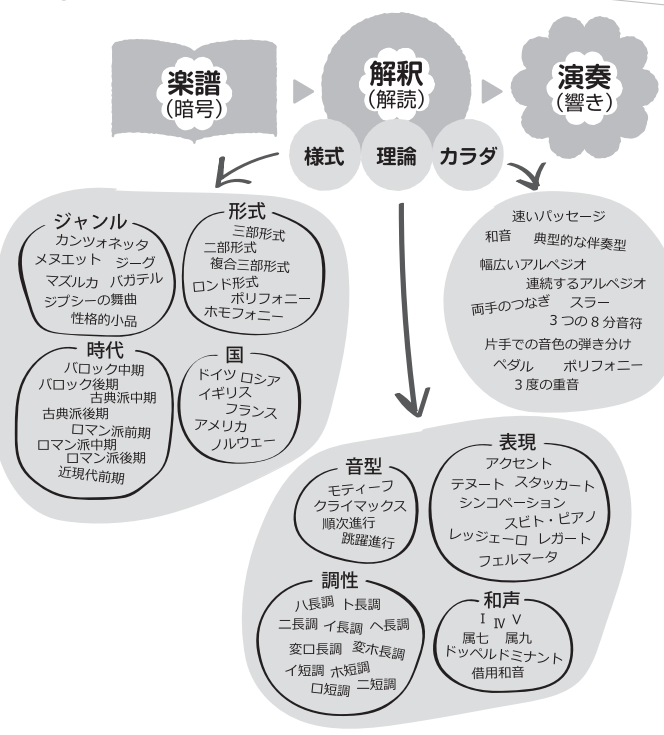
①は  $\frac{3}{4}$  のドミソ型の伴奏と3度の重音によるなだらかなメロディーが特徴です。左手にAb音が出てくる小節の和音はIVの借用和音で、一瞬短調のようなニュアンスになります。女の子が眠りに入る様子を表現しましょう。②は  $\frac{3}{4}$  で伴奏の刻みが細くなり、単音のメロディーが大きく動きます。強弱を工夫し、レガートでなめらかに演奏してください。③は3小節ですが、鋭いリズムと分厚い和音からなり、唯一  $\frac{3}{4}$  が指示されています。ペダルを使ってファンファーレのように華々しく弾き、次の部分につなげてください。④は  $\frac{3}{4}$  になり拍による切迫感が強まるだけでなく、スタッカートが多用されて歯切れもよくなります。伴奏の2、4番目の8分音符が重くならないように注意し、メロディーは1拍目に軽くアクセントをおいて、躍動感のある演奏を心がけましよう。

### 3度の重音を弾きこなすには (カラダ)

3度の重音は音を同時に出すのが難しいですね。以下のように練習してみましょう。まず指先を鍵盤にそっとのせます。鍵盤は下げません。指先を水平に揃えるためです。次に腕全体で鍵盤を底まで下げます。同時に音が出るように気をつけてください。手首を柔らかくしておくことがコツです。最後に手首を上げながら鍵盤を上げます。次の音に移る瞬間まで指先が鍵盤に触れている状態が理想です。次の音と重なるくらいのイメージをもちましよう。



## まとめ



「発掘! オリジナル攻略法」、最後までお読みいただきありがとうございました。「曲に取り組むための第一歩が踏み出しやすくなった」、「生徒さんの曲への取り組み方がスムーズになった」など、何かよい変化は起こったでしょうか? 11曲を例にここまでお話ししてきましたが、楽譜(暗号)を解釈(解読)するための3つの柱である「様式」「理論」「カラダ」の基礎アイテムが、かなり揃ったはずですが、参考までに連載でお話しした基礎アイテムだけ、図にまとめてみました。たった11曲、しかもそのポイントだけでも、すでにこんなにたくさんの基礎アイテムを手に入れたこととなります。あとは連載でご紹介できなかった『新選ピアノ名曲120 初級』の曲から重要なものを優先して使っていただければ、ピアノ演奏に必要な基礎アイテムはおおよそ揃うはずですが、というのも上級の曲は、これらの基礎アイテムの組み合わせが複雑になっているだけだからです。どんな難曲でも、これらの基礎アイテムに分解し、再構築できるようになれば、もう上級者の仲間入りです。ぜひこの連載を踏まえ、オリジナル攻略法を編み出してください。解説の柱を変えていただいてもよいですし、より洗練して下さっても構いません。大切なことは独自の攻略法を編み出すことです。生徒さんにもそのことを伝えてあげて、レッスンに生かしてみてください。

**黒田篤志** くらだ あつし  
 1973年生まれ。早稲田大学修士課程修了。日本アマチュアピアノコンクール7位入賞。出版社にて楽譜と書籍の編集を担当。現在小山市で、大人のピアノ教室「Lento レント」を主宰するかわら、フリーの編集者、ピアニストとして活動中。  
<http://ameblo.jp/pianote0519/>

